

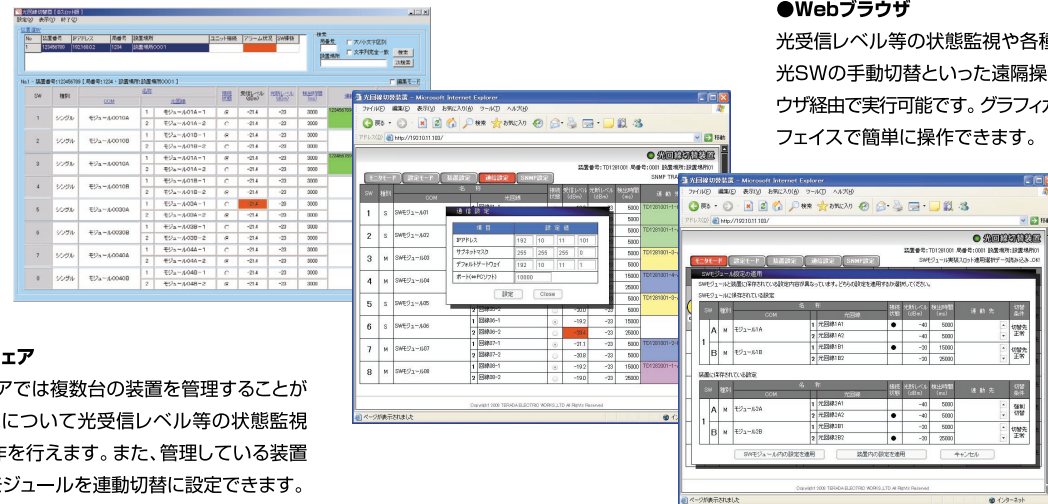
光ネットワーク機器を冗長化し、信頼性の高いネットワークを構築する事が可能です。



特徴

- 現用/予備双方の光受信レベルの常時モニタによる光入力断検出
- 光入力断検出時の自動切替
- 電源を入れたままで光スイッチモジュールの交換が可能(活線挿抜/ホットスワップ機能)
- 同時に最大8回線を切替可能(リンクアグリゲーション等)
- 光スイッチ状態・光受信状態をLED表示
- 2dB以下の低挿入損失
- Webブラウザ、TELNET、SNMPによる遠隔操作および監視が可能
- Telcordia規格準拠の光スイッチを採用
- リモートコントロールにより遠隔設置された場所で複数回線の連動切替が可能
- 画面上で光受信レベルの数値表示が可能
- 19インチラック1Uで8回線分収容のコンパクトサイズ
- LCアダプタ、SCアダプタ(マルチモード・シングルモード)対応
- 1モジュール1回線対応で最大8回線を収容可能
- 完全モジュール化により、メインコントローラ(主制御部)、電源部を含む全モジュールの交換が可能

操作画面



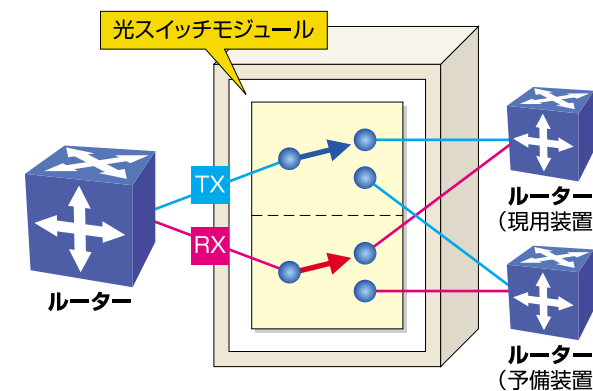
●専用ソフトウェア
専用ソフトウェアでは複数台の装置を管理することができ、それぞれについて光受信レベル等の状態監視および遠隔操作を行えます。また、管理している装置すべてのSWモジュールを連動切替に設定できます。

●Webブラウザ
光受信レベル等の状態監視や各種設定の変更、光SWの手動切替といった遠隔操作をWebブラウザ経由で実行可能です。グラフィカルなインターフェイスで簡単に操作できます。

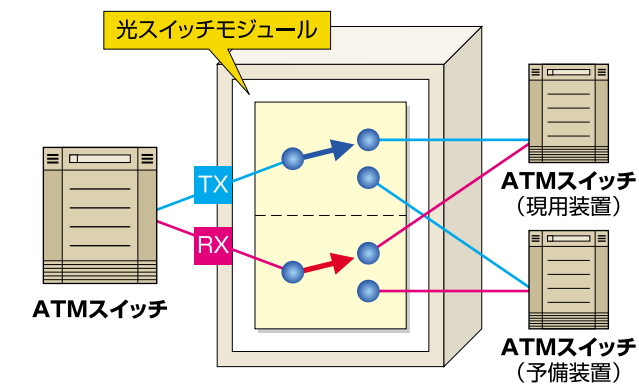
ネットワーク機器の冗長化

現用装置側および予備装置側の光受信レベルを常時監視し、光受信レベルが任意に設定された値に低下した事を検出して現用装置側から予備装置側へ同時切替を実行します。

<ルーターの2重化>



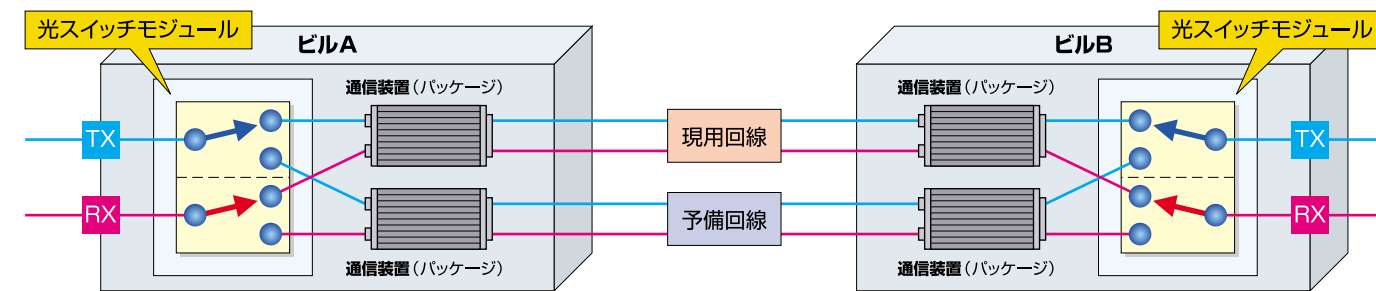
<通信装置(ATMスイッチ)の2重化>



伝送路の冗長化

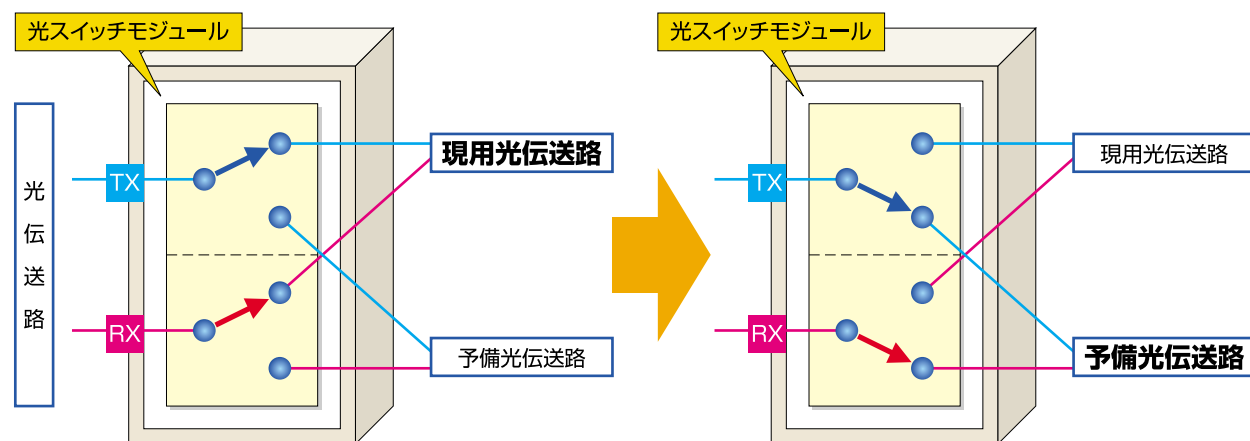
<光伝送路の2重化>

ビルAに設置した光スイッチとビルBに設置した光スイッチと連動して自動切替が可能です。



光スイッチモジュール構成

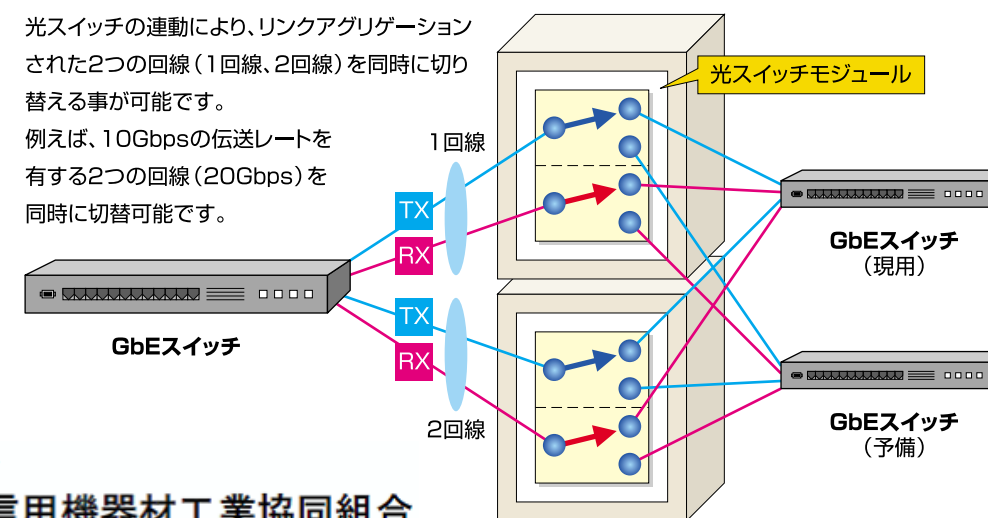
現用光伝送路と予備光伝送路との切替が可能です



※1モジュールに1回線分収容されています。

リンクアグリゲーション構成での冗長化

光スイッチの連動により、リンクアグリゲーションされた2つの回線(1回線、2回線)を同時に切り替える事が可能です。
例えば、10Gbpsの伝送レートを有する2つの回線(20Gbps)を同時に切替可能です。



※最大8回線まで切替可能

リンクアグリゲーションとは

複数の物理的なリンクを仮想的な1本のリンクとして扱う技術のことです。例えば、1Gbpsの帯域幅のリンクを8本束ねて、8Gbpsの帯域幅の仮想的なリンクとして使用します。この技術は、IEEE 802.3adとして標準化されています。リンクアグリゲーションは、高速な回線を使用しなくても帯域幅を広げることができるという利点があります。また、物理的なリンクのどこかに障害が発生したとしても、他のリンクが使用できれば、回線全体としては停止することなく動作し続けられるため、障害に対しても強いという特徴を持ちます。

●お問合せ・注文先

全国通信用機材工業協同組合

サービス営業部門 〒103-0004
東京都中央区東日本橋2-16-4 NSビル3F
TEL 03-6665-0115
Fax 03-5835-0730
MAIL shineihin-info@zentsukyo.or.jp